

市政懇談会以降の取組や考え方

【分類】

A: 要望等の趣旨に沿って措置したもの(既に取り組んでいるもの)

C: 当面は実現できないもの

E: 意見・提言として受けたもの

B: 実現に努力しているもの(検討を進めているもの)

D: 実現が極めて困難なもの

F: 現状等の説明を求められたもの

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
-----	----	----	------	-------	----

■企画部

1	西三島	自治会加入促進施策	行政リソースの縮小および住民ニーズの多様化が進む中、行政においては住民に身近なサービスを住民参加と協働のもとで展開するという動きが活発化し、住民により近い組織として、自治会の存在が改めて意識されるようになった。そして、期待される役割は“行政の下請け”から“住民自治の担い手”へと変容しつつあり、自治会を中心とした地域コミュニティの共助・互助機能の強化が求められるようになってきている。しかしながら、加入率の低下に伴い、そもそも自治会活動の担い手が不足しているといった問題がある。そこで、下記のとおり自治会加入促進と自治会活性化に関する条例の検討を望む。 1. 住民が自治会に自発的に加入することを促進するために必要な支援を行うべきことを市の責務として定める規定 2. 住民の役割として、自らが居住する地域の自治会に加入するよう努めるものとする定める規定 3. 住宅関連事業者に加入促進のために必要な措置等を求める規定 4. 事業者が自治会の活動への参加及び協力を求める規定 5. 庁舎内市民窓口等への専用窓口の設置	全国的に人口減少や少子高齢化が進み、さらに、ライフスタイルの変化、価値観の多様化などにより、人々とのつながりも多様化してきております。それに伴い、自治会加入率の低下など、自治会をめぐる情勢は厳しいものになってきており、そのような中、自治会長の皆様を始めとして、自治会役員の皆様にあつては、大変なご苦勞をされていることと思います。 市といたしましても、自治会の活動の活性化は、地域全体の活性化に欠かせないものであると認識しておりますので、できる限りの支援を行ってまいりたいと考えております。 ご提案のありました、自治会加入促進と自治会活性化に関する条例の制定につきましては、まずは、他の自治体の制定状況や効果などについて調査研究を行ってまいりたいと考えております。 条例制定の調査研究と並行して、ご提案いただいた具体的施策について、自治会長連絡協議会と連携しながら、できることから取り組みを行ってまいりたいと考えております。	B
2	太夫塚	広報誌発行のあり方及び発行回数の変更	現在の広報誌はマンネリ化しており、何ら興味を抱く内容ではない。配布された世帯の何軒が読んでいるか疑問に思う。1年間保存している世帯は皆無であり、市も期待していないようでとじ穴もない(大田原市はとじ穴あり)。ほとんどごみとして廃棄されている。制作担当者は、他の自治体発行の広報誌を参考にしている等の努力を期待する。 また、月2回の発行は妥当なのか。平成29年度市政懇談会回答では、25年度実施の市民アンケートでは6割が月2回の発行を希望している(調査方法が間違っているのでは)ので継続しつつ、アンケート等で市民意向を把握するとあるが、実施したのか。発行回数が月1回か月2回かを調査するのではなく、広報誌の取り扱い方を調査すれば自ずと答えは出るのではないか。以下の理由により月1回の発行に変更を希望する。 1 経費節減(印刷費用の減額、用紙代の減額) (本市2回発行 40ページ、大田原市1回発行 24ページ) 2 ゴミの削減 3 自治会の負担軽減	広報なすしおばらについては、市民アンケートを6月に実施し、現在集計中の結果を参考にしながら対応して参りたいと考えております。 また、広報誌の掲載内容等につきましては、今後とも他市町の事例などを参考にしながら、より良い広報誌づくりに努めてまいります。 更に、広報誌だけでなくホームページやフェイスブック、みるメールなど戦略的な情報発信を考えてまいります。	A

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
当日	太夫塚	広報誌発行のあり方及び発行回数の変更	【再質問】広報誌の発行について、平成29年度の市政懇談会でも1回にしよう要望した。その時は、平成25年度にアンケートをして半数が2回がいいという結果なので今後検討すると言われた。それから2年経って今年6月にアンケートをしたというが、すぐ対応できるものを放置しておいて、市政懇談会で質問するたびにアンケートをするのは欺瞞ではないか。周囲に聞いたが誰もアンケートを受け取っていないということだった。本当に実施したのか。近隣市町の広報を集めて持ってきたので、(本市の広報は)中身も貧弱すぎて読もうという気にならない。これを参考に勉強してほしい。	計画的にアンケートを取っており、決して(案件を)放置したものではなく、無作為抽出して年代別を実施しています。中身についても市の出来事をお知らせできるよう十分検討しており、手前味噌ですが自治体の広報コンクールでも高評価を得ています。この先、発行回数も含めた広報誌の在り方について、アンケートを参考にしながら検討していきます。また、情報の発信方法についても、広報誌だけでなく幅広い発信方法がないかと検討をしているところです。 【市長】広報誌に関しては人により意見が異なり、減らせと言う方もいて増やせという方もいて、調整を取るのが大変な問題ではあります。上記回答のとおり、紙媒体の在り方も状況に合わせて変えていくことになると思います。また、SNSによる迅速なプロモーションや地域の魅力発信を進められればいいと思います。那須塩原市、栃木県の課題はどのように地域を魅せるかです。これは対外的にも対内的にも、まちの良さを多くの方に知ってもらえるように。プロモーションは戦略的に徹底的にやらなければなりませんので、引き続きご指導いただければと思います。	A
当日	南郷屋	広報アンケート	【追加質問】アンケートの方法について説明してほしい。(送付方法、回収率、公表について)	18歳以上から29歳までに400人、30歳～39歳までに400人というように年代を5分類して、無作為抽出し、計2000人に郵送で送付しています。表計算ソフトにより地区も関係なく無作為で抽出しており、期間は終了し約690人から回答を得ています。また、インターネット回答もできるように広報などでお知らせしました。発行回数については月1回の希望が6割を超えたことが確認できましたので、今後検討していくとともに、結果については集計が終わり次第公表する予定です。	F
3	槻沢	自治会への補助金	自治会への補助金額が少なく、戸数が少ない自治会ほど多額の会費を自己負担しており、事業計画を立てるのも難しく、運営管理ができない。補助金額を見直してほしい。	現在、自治会が実施する事業に対して、自治振興費補助金がありますが、今年度以降、自治会の皆様により活用しやすい補助制度になるよう見直しを行う予定となっておりますので、その中で検討をさせていただきたいと考えております。	E
4	槻沢	新庁舎建設の見直し	新市長が就任したので、新庁舎建設の計画の見直しをお願いしたい。那須塩原駅直結の庁舎とし、行政機能だけでなく、観光案内用のイベントホールや多目的ホールなどの機能を設けてはどうか。	今後那須塩原駅周辺のまちづくりビジョンを取りまとめる予定であり、いただいたご意見も参考にさせていただきながら検討したいと考えております。	E
当日	北二つ室	まちづくりビジョン	【追加質問】まちづくりビジョンはいつ頃までにまとめるのか	【市長】この期間にやるとは決まっていません。相手があることですので、できる限りこの地域の事を考えていただける専門家の方であったり、あるいは本市の開発に携わる意思のある企業の皆さまの中から、ベストマッチングできないかと思っています。一方で「今やっている市庁舎や周辺の整備はどうなるのか」という疑問も市民の方からいただくので、期限は未定ですが、悠長にはしていられないというのが率直な感想です。できる限り早めに、年度末には何らかの説明ができればいいと思っています。	F

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
当日	西三島	市政懇談会要望の回答	【追加要望】全般的に検討します研究するが10か所。昨午が14か所。検討しますという回答だと悪い見方をすると何もしないということにもつながりかねない。そこで提案ですが、例えば半年後に検討結果を回答するなどをしてはどうか。	例年12月頃までに進捗を取りまとめてホームページで公表していますが、それだけでは分かりづらいとの意見もあると思うので、まさに『検討』になってしましますが、より分かりやすい方法を考えていきたいと思います。 【市長】できる限り提案されたものについては、結果をお示しをしていければと思っています。数が多いので全部が全部できるわけではなく、それぞれの回答のとおりになってしまいます。	A
当日	北二つ室	市長マニフェスト	【追加質問】ホームページにある市長の基本理念に興味ある。渡辺市長の5つの創る政策マニフェストについて知りたい。市政運営方針は君島市長時代のもものが引き継がれるということか。	マニフェストはHP上で記者会見の資料として掲載してありますが、今ご質問をいただいて、掲載箇所が適当かどうか確かに疑義があるので、もう少しわかりやすいところに掲載したいと思います。 【市長】行政の継続性もあり、君島市政時代から継続してやってきたこと、渡辺美知太郎としてこれからやっていきたいことを収斂している状況です。個人の考えと市役所の考えでは若干差異があるが、時間がたつにつれて収斂されると思います。走りながら市政運営をしており、公式な見解がマニフェストになっています。全部引き継ぐわけでもなく、全部否定するものでもなく、先程説明した子どもの甲状腺検査などは、これまで国会議員時代に言ってきたところで違いがあるのであれば、どこまで寄せられるのかを検討していくところです。 【副市長】平成31年度の市政運営方針は、君島市長の市政運営方針でありますので、亡くなった時点でリセットされると捉えていただいて結構です。	A
当日	西三島	地域間の融合と事業の実施順	【追加要望】立候補の時から熱い視線を送ってきた。その時から市長は「融合」という言葉を使っていた。西那須野地区の住民は「黒磯優先」と感じている。例えばこの市政懇談会についても黒磯地区は終わっており、下野新聞にも市政懇談会でこういう意見が出ましたと載っている。ポンプ操法競技会も黒磯が先。渡辺市長の前に三代の市長がいたわけだが脈々とこの慣例が続いている。西那須野地区や塩原地区の住民のモチベーションを上げるためには、こんなたわいのない行事の開催順序を変えてみるなどの政策も必要ではないかと思う。先日も市長に西那須野ミーティングに来てもらった。西那須から明日の那須塩原を考えるということで市議会議員と自治会長が席を同じくして検討している会。是非とも慣例を払拭していただきたい。	【市長】なるべく地域の確執はないようにしたいと思っています。市長になる前、年配の人だけでなく若い人も「黒磯の人は…」「西那須の人は…」などさりげない日常会話で耳にすることがあり、根深い問題なのかもしれません。市役所の人事については、副市長は西那須野ですし、企画部長は塩原ですから、地区に関係なく幹部に助けていただいています。今後様々な取組をする中で、順番なども含めて検討していきたいと思います。この市政懇談会には、全幹部職員が来ているので、これからは細かい気遣いができればと考えています。	B

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
当日	槻沢	新庁舎	【追加要望】新庁舎について、市の財政も豊かではないので、駅ビルにするなどは考えられないか。那須塩原駅を中心にしたまちにすれば、市の中心が明確になり、ひとつのまちにまとまって来るような気がする。補助金などをあてにしないでJRとか有名デパートを駅に入れば補助金を使わなくてもできるのではないか。そんなことも思考の中に入れてほしい。	【市長】新庁舎に関する見解を申し上げるのは差し控えますが、議会でも度々提言いただいています。俯瞰的に見るため、専門家の方や市民の方の意見を総合して決めていきたいと思っています。例えば、専門家や外部のデベロッパーを入れて意見をもらって、庁舎は今の位置が良いとなればそのままにし、駄目だとなれば、それはそれで一つの意見だと思います。これから、限られた時間ではあるが、どういう形がいいのか様々な方の意見を聞きたいと思っています。 県北地区では人口減少が微減している中でも、西那須野地区は増えています。また、財政状況も他市と比較するといいいですし、これは間違いなくこれまでの市長の功績だと思っています。一方で、歴代市長は、自分の出身ではない地区に気を遣いながら、西那須野でやったら次は塩原、そして黒磯など旧市町単位で見えてきたところもある。公平ではありますが、ご指摘のとおり那須塩原全体をどうするかという視点とは言えないと思います。栃木県北をどうにかするには最大の那須塩原市をどうするのかという視点で見ていきたいと考えています。	E
当日	一区町	新庁舎	【追加要望】新庁舎について、以前7市町の合併という話があり、実際に大田原市長が那須塩原市長にも呼び掛けているという話も聞いた。なぜ合併がまとまらないのか。庁舎は那須塩原の南、大田原の北の10町歩位の広大な空き地を買ってあそこにバンと建てて、そうすると黒羽も湯津上も交通の便がいい。極端に言えば、那須塩原駅の上にもう一本道路を作って、東京から偉い人が来た時にはその道を使って庁舎に来ればいい。駅前には駐車場の車でごった返している。御用邸もなくすわけにいかない。	【市長】アート一つとっても重複するものがあり、広域でシェアリングできるものができればいいのではと思っています。地域の連携は必要だと考えています。	E

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
-----	----	----	------	-------	----

■企画部、生活環境部、産業観光部

1	西三島	広報・回覧物に関する紙資源保護および経費削減	月2回、該当自治会の班回覧より、「広報なすしおばら」やその他の回覧物と一緒に配布されてくるが、大きく分けて各戸配布と班内回覧に区別される。各戸配布は自治会加入されている世帯、全部に配布されるため、本市は約3万1千部程になり、班回覧は各戸配布の1割ちよつとの3,300部だそうで、紙代、印刷代、それを各戸へ届ける為の、市職員や各自治会への労力を考慮すると大変な経費が発生する。回覧物の各戸配布と班回覧の区別の基準やルールを明確にし、紙資源の削減や、市の予算の有効活用などの取り組みをお願いするものである。以前から各戸配布されたもので、これは回覧で十分では？と疑問視する案件は多々あったが、その中で最近の2事例を列記する。 1例目は3月16日ダイヤ改正になった「ゆ〜バス」「ゆ〜タク」のバス総合時刻表が3月20日付で各戸配布された。カラー印刷で39ページある小冊子になっており、市内各戸配布であるからかなりの制作費用が発生していると予想する。通勤や買い物される方のほとんどが車を利用し、バス利用者は生徒や車を所有しない、運転しない方の一部に限定されるのではないのか。その為に各戸配布は必要か。今回のダイヤ改正では、時刻表各戸配布される前の3月5日の回覧時にA4三枚ものでダイヤ改正の内容も班回覧で配布しておりこれで変更内容も分かり十分ではないか。あとは利用している、ゆ〜バス車内のドア付近にBOXを設置し時刻表を置いて、1枚案内チラシを貼っておけば良いのではないのか。 もう一例は4月19日の回覧時に発行した、那塩農整第20号のお知らせで、「カモ・カラス・ハトの捕獲の実施について」で、これも各戸配布だった。案内は市内全域の農地、山林、河川敷となっており、具体的な場所の特定もなく、市民の行動として、作業現場を見かけた付近寄らないようにとの単純な注意内容なので、回覧で十分ではないか。	【企画部】 文書の配布にあたっては、文書配布量が増加し、皆様には大変なご苦勞をおかけしていることは十分に認識しているところであり、改めて御礼申し上げます。 文書配布につきましては、ルールを設けて運用しているところですが、現状を鑑み、改めてルールを明確化し、文書量を削減すると共に、的確で効果的な制度となるよう検討を行っていきたいと考えております。 【生活環境部】 再編計画に基づく運行実施初年度から、一人でも多くの市民にゆーバス・ゆータクを知ってもらいたいと考えまして、総合時刻表を全戸配布いたしました。 今後、新たに総合時刻表を作成したときには効率的な配布方法について検討してまいります。 【産業観光部】 「カモ・カラス・ハトの捕獲の実施について」については、5月中の3日間において市内全域を対象に銃器を使用しての駆除作業を実施しており、注意喚起のため、チラシを各自の手元においていただくよう各戸配布にしております。	B E F
---	-----	------------------------	---	--	----------------------------

■総務部

1	槻沢	今後の放射能対策の方針	除染作業は過去に一部を実施しただけで、その後は放射線量測定結果のお知らせしかしていない。今後の方針について伺いたい。	市では「子供たちの安全・安心の確保」を最優先し、これまで公共施設等(568か所)、住宅(13,412か所)、事業所(600か所)の除染を実施してきたところであり、除染未実施の住宅等については、今後も要望があれば線量を測定し、基準を超えている場合には除染を実施することとしております。その他、空間放射線量測定や食品の放射性物質簡易検査等のモニタリングを継続し、引き続き市民の皆様の不安の払拭に努めてまいります。 なお、市内の空間放射線量は、平成30年7月現在、測定地317か所全てにおいて、国の基準である0.23マイクロシーベルトを下回り、除染については一定の効果が図れたものと考えております。	F
---	----	-------------	---	--	---

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
■生活環境部					
1	上井口	防災減災対策による節税	道路の見通しが悪いのでミラーを設置してほしい等の要望が後を絶たない。市に要望しても交通量が少ないため設置不可との返答だが、信号機のない見通しの悪い所(住宅街など)では毎回ヒヤリ・ハットすることが多々ある。子供・高齢者、自転車、歩行者、車の事故がいつ起きてもおかしくない。見通しの悪い所は①家の塀が高い②木々が高い③建物で見えない。これらの3点の改善のため、ミラーや信号機を設置すると税金がかかるので、各戸で対策改善できれば、節税・防災につながる。市民に議会決議や広報でお願いすることを提案したい。	自治会内で協力し合い、地区内の安全対策に努めていただきたいと思います。見通しの悪い道路等での運転車の交通マナーアップについては、広報誌等により引き続き啓発を行ってまいります。	E
当日	上井口	防災減災対策による節税	【再質問】カーブミラーや信号の設置ではなく、お金ばかりかかることではなくて、民家の壁や塀が一番危ない。月2回の広報配布でも、班は14軒とその他企業で30軒あり一日かかり、途中舗装されていないところもあり、本当に危ない。車の頭を出すのに事故にならないようヒヤリハットの連続です。自分の家の周りのブロック塀は車で見える高さにし、木は刈ることでミラーはいらない。特に、田舎に行けば行くほどミラーばかり設置している。ミラーを付けなくていいようにするためには、税金でやってくれと言っているのではなく、自ら安全のために塀を見えるようにしたり、木を見えるようにしたりそれをお願いしますと要望した。交通マナー…と意味が全然違う。そういうことを広報なり市議会などで家の周りや草刈やっているのと同じように各個人の家へ協力をお願いする。それだけで節税、しかも災害、子どもの安全になる。税金をかけて作れでなく、広報なり皆さんの議会をお願いするなどし、全国初にしたらいいと思う。	市が介入して民地の塀を低くすることはなかなかできない状況であり、ご理解いただければと思います。現地も確認したところで、確かに見通しが悪く、見にくいというのもありました。そういった場所では、止まれの標識がなくても確認できるまでは徐行するなどの工夫していただくような啓発を広報等で始めていきたいという意味で回答したものです。 【市長】前向きなご提案ありがとうございます。カーブミラーや信号機の設置の要望ではなく、税金を使わないで何か良い案を出して、節税して地域の安心安全を図ってほしいという気持ちに感謝申し上げたいと思います。ただ、あくまで個人の財産権の問題ですから、活字にするのは難しいため、こういった回答になっております。具体的には実務レベルの答弁になり、塀や木を切ってくれと言うのは、個人の財産権に抵触するものがあるので市としては難しいところがあります。大勢の方がお集りのところでこういう提案がありましたといった呼びかけみたいなことができればいいなと思っております。	D
2	西三島	横断歩道の引き直し	西三島5丁目十字路横断歩道の引き直しをお願いしたい	横断歩道の引き直しについては、6月に那須塩原警察署に要望いたしました。	A
3	西三島	JR宇都宮線の首都圏直通運行	現在JR宇都宮線の黒磯発上り電車は38本運行されているが、宇都宮止まりが34本、首都圏への直通電車は早朝の時間帯に首都圏行きが4本である。下り黒磯方面にいたっては38本中、宇都宮始発35本で首都圏発は湘南新宿ラインのたった1本(残りは小山、小金井始発)のみである。つまり、首都圏への往復には、ほとんどすべてが宇都宮で乗り換えが必要です。今日の高齢社会においては、健康で比較的時間に余裕がある高齢者は新幹線ではなく、JR宇都宮線を利用して首都圏や古都鎌倉に出かける傾向にある。反面、新幹線は時間をカネで買う世代には利用価値があるが、首都圏から県北への観光客誘致による経済効果および移住者増により人口減少を抑止するために県北各市町が連携して、首都圏発着直通電車の増便を陳情してはどうか。	参考意見とさせていただきます、次回のJR東日本への要望の機会に検討させていただきます。	E

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
4	槻沢	公共交通の見直し	当地区にはゆ〜バスは通っているが、停留所が遠く、利用できない。停留所を申請しても設置されず、ゆ〜タクも指定の範囲外である。県内の他市では、市独自でデマンドバスを運行し、少ない経費で運営管理していると聞いたので、その方法を参考にしたい。	他市町村の事例を研究しながら、本市の公共交通の再編に取り組んでまいります。	E
5	槻沢	ごみ対策	行政は市民任せで、ごみの分別収集に関する依存度が高すぎると思う。指定ごみ袋の値段も高く、利用者のマナーが悪いなどのさまざまな問題が生じているので、それらの問題があることを認識してほしい。	ごみを分別することにより、ごみ減量に協力することは、国民の責務として廃棄物処理法に規定されておりますので、今後ともご協力をお願いします。 また、ステーションの利用等については、日々様々な相談を受け、対応させていただいております。	E
当日	下永田	猫の飼い方	【追加要望】猫に車を傷付けられたという相談も受けた。猫の飼い方のチラシを渡されて終わったというおざなりな対応で憤懣やるかたなく私のところに話に来た。猫や犬の飼い主のモラル。市としても(広報などで)出してほしい。	要望としてお聞きします。	E

■生活環境部、保健福祉部

1	西三島	児童の登下校時の見守り体制強化とボランティアポイント事業	平成17年12月に旧今市市で女儿が連れ去られ未来を断ち切られるという痛ましい事件が起き、この事件をきっかけに、自治会やコミュニティで、下校時見守り活動をしていこうとスクールガードボランティアが発足し、事件から13年経過した今も継続しているところである。しかしながらこの自治会も高齢化によりボランティアが減少し、活動の存続が危ぶまれている。本市では子どもを交通事故から守るために市から委嘱され、年間50万円ほどの報酬を受けて登校時、おおむね1時間程度(10〜40分勤務などがほとんど)活動している交通指導員がいる。子どもを犯罪や交通事故から守るという目的は同じなのに、不公平感を感じますが市の見解を伺う。下校時の見守りをスクールガードボランティアのみに任せるのではなく、交通指導員や在宅の保護者も含め、地域ぐるみで体制を構築すべきと考える。来年4月には地方公務員法の一部改正により、交通指導員の身分も非常勤特別職からボランティアに見直しされると思うが、これを機に、交通指導員を例えば「学校安全ボランティア」と呼称を変更して、下校時の見守りをするよう条例を改正されたい。 また、本市は現在「介護ボランティアポイント事業」を推進している。これは、市に登録した高齢者が指定を受けた市内の介護サービス施設などで行ったボランティア活動をポイントに換算し、商品券と交換できる制度である。しかしこの制度は対象者自ら、健康維持・増進・介護予防に努めるという観点から、介護のみに絞っているようである。さくら市では「ボランティアポイント制度」があり、介護に限らず、幅広い形での事業となっており、青少年から高齢者までの公益的なボランティア活動を行う方の励みとなり、より一層ボランティア活動や市民活動への関心を高めてもらうための制度で、現在250人が活動中だとの事。本市においても、このようなポイント制度事業を検討してほしい。	【生活環境部】 国の地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律に伴う交通指導員の来年度以降の任用形態や体制については、教育委員会や学校など関係機関と連携し、検討してまいります。 【保健福祉部】 他の先進事例を参考にしながら、ボランティアポイント制度を支える施策等も勘案しながら、本市に適した制度を検討してまいりたいと考えております。	B E
---	-----	------------------------------	--	--	-------------------

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
-----	----	----	------	-------	----

■保健福祉部

1	西三島	子どもエコー検査の実施及び助成	福島県は、東京電力福島第一原発事故時に18歳以下だった約38万人を対象にした甲状腺検査を行っており、その結果、2018年12月末現在212人ががんまたはがんの疑いになっている。原発事故以前から言われている甲状腺がんの発生率は、100万人に3人と言われており異常な数値である。前君島市長は、放射能対策アドバイザーの意見を踏まえ、現時点では甲状腺検査は実施する予定はないと回答しており、いまだに実施されていない。健康セミナーなどを開催し、問題ない、影響ないと言っても、栃木県北は福島県の中通り浜通りと同等の放射能汚染があり、国は、県境で切る対応である。福島県での甲状腺がんの異常な発生率の現実がある以上、本市も不安を解消できずにいる。 本市を中心に、二つの市民団体が、ボランティアで検査してくれるお医者さんを探し、受診者の寄付等で甲状腺検査を毎年おこなっており、6月中旬にも西那須野地区で計画されているが、5月上旬に定員100名を超え早々と閉め切られた。渡辺市長は、国会議員時の予算委員会等の質問で、「福島県外での子供の健康調査を行っていただけないか、福島県外でも、線量が低いからやらなくていいよというのは、いささか乱暴な話ではないか」と思っており、全員一律に、出来ないのであれば、せめて希望者だけでも子供の健康調査をやっていただけないか」と、環境大臣にたびたび質問されていた。市長となられた今、子ども持つ親の不安を解消してくださるよう、市長独自の英断を切に願う。 市民や町民の不安解消や子供目線で寄り添っている自治体 ★原発事故後、甲状腺検査あるいは甲状腺検査助成の実施自治体 栃木県：日光市、那須町、塩谷町、茨城県：北茨城市、東海村、高萩市、大子町、かすみがうら市、つくば市、牛久市、常総市、龍ヶ崎市、千葉県：松戸市、柏市、我孫子市	甲状腺検査の実施については、これまでの行政の取組の整合性や関係者との意見を改めてヒアリングをして総合的に判断してまいります。	C
当日	西三島	子どもエコー検査の実施及び助成	【追加要望】子どもエコー検査について、総合的に判断するとあるので期待している。市長には予防原則の考え方に基づいて対応してほしい。不安を抱えるお母さんのために向き合った対応を重ねて期待する。	【市長】子どものエコー検査の件で、自分も国会議員時代に度々質問しました。考えは変わりませんが、どんな形でできるか、どんなタイミングでできるか、よく検討して1番良い方法でできればなと思っています。これについては追って報告をさせていただければと思います。	C
2	西三島	世帯分離申請に関する適正審査	最近、介護保険制度の負担軽減等を理由に同じ住所で暮らしていても世帯を分離する家庭が増えている。そもそも「世帯」とは、原則として住所と生計が同じ場合に適用されるはずだが、同じ家で、かつ生計も一にも関わらず上記理由で世帯分離を行政窓口申請するケースが後を絶たない。医療保険制度や介護保険制度は「共助」の部分であり、公正に運用されることが望ましい。 従って申請を受理するにあたっては、適正な審査をお願いしたい。	世帯分離の届出は、生計の実態に合わせて行われるもので、届出時には生計が別である旨の確認審査を行っており、生計が同一である場合には受付できないことを指導しています。今後は、他市町の取扱い状況等を参考にしながら、より適正に審査が行えるよう努めてまいります。	E

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
3	西三島	認知症高齢者徘徊SOSネットワークの早期構築	今日の高齢化社会においては、85歳以上の高齢者の4人に一人が認知症を患っているという推計データもある。高齢者福祉計画を推進するにあたっては、認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、認知症についての知識や理解を深めるための普及啓発活動が重要だが、徘徊等により行方不明になる認知症高齢者を早期発見・保護するための市民参加型のネットワークを早急に構築することを提案する。なお、本件は平成27年度の市政懇談会にて提言したが、未だ素案すら見たことはない。	御意見をいただいております徘徊等により行方不明になった認知症高齢者の方の早期発見・保護するためのSOSネットワークについては、市民、医療介護関係者、行政、有識者等で構成する地域包括ケア推進会議においてご意見をいただきながら構築していく予定となっております。市、社会福祉協議会、地域包括支援センターで構成する実務者レベルの地域包括ケア推進担当者会議でSOSネットワークの体制整備について検討を始めたところであり、今年度には体制を構築したいと考えております。	A

■建設部

1	下永田	那須拓陽高校東側道路(下永田3丁目付近)の浸水対策	拓陽高校北の十字路から大山通りに向かう約200mの拓陽高校東側道路は、JRの踏切方面より勾配のある坂道で、何回か道路改修工事が行われてきた。そのたびに道路はかさ上げされ、敷地等が道路より低くなり、大雨の時、敷地や家の中への浸水被害を受けるようになり、家や敷地を高くした家が何軒ある。この道の両側には、下水溝が作られているが、大水になると機能しない状況である。 近年急激な降雨による自然災害が多いので大変心配で、高校側には少し高い歩道があるため、道路に水たまりもできやすく、車が通行すると水しぶきがたち、歩行者はもろに水を浴びることもある。ここは拓陽高校の生徒が授業のため農場への歩行に利用しているので、水しぶきの被害を受ける高校生の姿がよくみられる。道路沿いの家や敷地への浸水および水たまりの解消などについて、市としての取り組みを要望する。	側溝への流入に不具合があることから水たまり等が生じるものと考えられますので、雨天時の状況についてこの路線を含め広範囲に確認し、より効果的な対応について検討してまいります。	B
当日	下永田	那須拓陽高校東側道路(下永田3丁目付近)の浸水対策	【再質問】那須拓陽高の東側の道路について、前向きに側溝などの検討をしていただきありがとうございます。また、西那須野中学校の脇の工事が終わったらと言う話もあるがいづ頃になるか。	雨水冠水については西那須野地区長年の課題です。現地も見てきましたが、歩道が高い構造なので、雨天時にも確認したいと考えています。大山通りには雨水幹線が通っているので、雨水があふれる状況のときには全体的な計画の中で検討していきます。	B
2	西三島	横断歩道の穴の補修	国道400号線と電気小売店前の市道との交差点の横断歩道に穴があいているので、補修してほしい。	県に確認したところ「要望箇所について、歩行者の完全な通行を確保するため、穴埋め補修を実施しました。また、当該区間については、事業中の車道4車線化工事に伴い、舗装工事を実施する予定であります。」との回答を得ておりますので、御理解、御協力のほどよろしくお願い致します。	A

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
3	西三島	烏ヶ森公園で噴水を生かした水と緑のアート公園を	那須野が原は元々水資源に乏しく農地には適さない地域であり、江戸末期まではほとんど集落のない原野であったが、先人たちの努力により、那須野ヶ原開拓を成し遂げ、那須疏水の開削より現在があるといっても過言ではない。そして、昨年は明治貴族が描いた未来というテーマで日本遺産に認定された。この先人たちの築いた功績に感謝し、水と緑のまちと呼ばれているようにその努力を後世に伝えようと毎年4月15日に開墾記念祭が烏ヶ森公園で開催されている。 烏ヶ森公園は桜、つつじ、などが有名で、特に1300本のソメイヨシノの開花時には、20軒程の店も並び、夜にはぼんぼりも灯り幻想的な夜桜を楽しむ事ができ、多くの地元の家族連れや遠路から観光客などが訪れて楽しんでおられる光景を見る事ができる。また遊歩道(総長 2.6 ㍓)なども整備され、遊具などが2015年度に一新されるなど、公園の整備に取り組みに感謝します。以前はこの遊具のそばに大噴水があり、定時的に吹き出す噴水に、夜は光による虹の噴水となり、訪れた方はしばしの安らぎ、幸せを体感できる、水の町としてイメージできる場所だった。 しかしながら、この噴水もだいたい前の故障をきっかけに復活する事も無く、昨年撤去され、非常に残念でならない。命がけで那須疏水を開拓した先祖の意思をしっかりと受け継ぎ、ここ烏ヶ森公園を、那須疏水の発祥の地として、桜、つつじ、遊歩道、そして水を最大限に生かした噴水と緑をうまく調和させ、公園全体が、アート公園として蘇り、市民の憩いの場と知れ、多くの観光客を呼び、ここ西那須野から全国に発信していく、そんなまちづくりを提案する。動力を使わないで、水圧などを利用した噴水(兼六公園)などもあり、是非検討してほしい。	ご意見にある通り、烏ヶ森公園の歴史は源頼朝のエピソードもあるほど古く、明治時代には那須疏水の起工式が当所で行われるなど、那須疏水、那須野が原開拓と深く関連がある場所です。 このため、本公園の大池に流れ込む水は那須疏水の水を利用しているほか、開墾記念祭を執り行えるように野外ステージの整備も行われております。市としても、那須疏水の発祥の地を活かした公園として認識しているところです。 噴水については、芝生広場として再整備しましたので、桜などの花見や、親子のボール遊び等の広場としてご利用いただき、市民の憩いの場として愛していただければと考えております。 なお、噴水新設やアート公園を目指した再整備となると工事費用の捻出など財政的な負担の面から難しいと考えております。 烏ヶ森公園につきましては、那須野が原開拓の思いが感じられる公園として今後も適正な管理に努めてまいりますのでご理解をお願いいたします。	F
4	西三島	児童公園の新設	子どもたちは、地域の大人に見守られながら、友達との屋外での遊びや様々な体験を通して、対人関係を身につけ、生きる力を育む。放課後児童クラブは、かごの中で放し飼いにされているようなもので、その本質は学校の延長であり、地域で子どもを育てるという本来の姿からはかけ離れている。子どもの健全な成長と安全確保の観点からも、住宅地に児童公園を整備し、地域の大人の目が行き届いた環境で、伸び伸びと遊ばせたいものである。 本市における都市計画は、市民の憩いの場として郊外に大規模公園を整備するが、住宅地に子どもたちが遊ぶ児童公園をつくることはなく、口癖のように「人口に対する公園の面積は充足している」と言う。子どもたちは帰宅後、友達と遊びたくても、遠くの公園まで出かけて行って遊ぶことはできない。また、そのような公園は子どもにとって危険が潜んでいる。本市の宝である子どもたちの遊び場として、また子育て中のママと乳幼児の憩いの場として、出生率が高い地区の住宅地に児童公園を新設されたい。	市といたしましても、ご要望の通り、子どもの健全な成長を見守ることは非常に重要と考えております。このため、公園施設長寿命化計画に基づく既存公園施設の更新において、遊具の更新を積極的に行っているところです。 ご要望にある新たな公園の整備については、財源確保等の課題が大きく、実現が難しいところでありますので、現在ある公園を子どもたちの成長の場として有効に活用してまいりたいと考えております。	E
5	槻沢	石林街道の整備	石林街道(拓陽高校乃木農場からアジア学院の横を抜け、狩野公民館まで)の全面舗装化と拡幅、両側側溝の整備をお願いしたい。	本件は、以前にもご質問をいただき同様の回答となりますが、市道石林通り線(石林街道)の拡幅工事につきましては、現在施工中の市道新南・下中野線の完成後の交通量変化などを見極めながら、整備方針を検討してまいりたいと考えております。	C

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
-----	----	----	------	-------	----

■建設部、上下水道部

1	槻沢	下水道の整備と住宅地の浸透槽	当地区の分譲住宅地内の浸透槽が設置から時間が経過しているため、不浸透や冠水などの問題が生じており、住宅販売会社も分からず困っている。かつては、集落排水につなぐ計画があったが、この地区は勾配が強いため取りやめとなった。何か対策を講じてもらえないか。	【建設部】 近年、ゲリラ豪雨などの浸透槽の処理能力を超えてしまう雨量があった場合は、浸透槽からの溢水が生じてしまうことがあります。また、長年にわたり浸透面に土砂が溜まったことによる浸透能力の低下も一つの原因とされます。雨水浸透槽の現状を確認の上、対策を検討していきたいと考えております。 【上下水道部】 槻沢地区の当該地域は、集落排水及び公共下水道全体計画の区域に含まれていないことから、下水道の整備予定はありません。浄化槽処理水の排水対策について、有効な手法がないか検討してまいります。	B E
---	----	----------------	--	--	-------------------

■西那須野支所

1	三島	側溝の機能維持管理対策及び清掃等の実施状況	市街地の幹線道路沿いにおける雨水対策について、防災の観点からお聞きする。近年、台風やゲリラ的な集中豪雨が頻発し、やや多めの降水量で道路からの雨水が側溝からあふれたり、うまく流れ込まずに敷地内に多量に流入してしまう現象がある(市道N1-23沿い)。原因は、道路と側溝の構造にあると思うが、側溝に土砂が堆積し浅くなっている可能性がある。そこで、側溝の機能維持管理対策及び清掃等の実施状況を聞きたい。	側溝の維持管理対策について、現場パトロールや自治会からの要望を受け、市職員が現地を確認し堆積状況に応じて側溝清掃を実施しております。なお、市道塩原街道線(N1-23)の道路側溝は、現在、堆積物が多くなことから、適宜、現地確認に努め対応してまいります。	F
2	西三島	市道の雨水対策	西三島1丁目の市道に雨により田んぼの水が子ども達の通学路や道路下の民家にも水が流れている。子ども達も道路を渡るのに困っている。	畦畔を元に戻し、所有地外に水を流出させないように田んぼの所有者に依頼します。	A
3	西三島	カーブミラーの点検	西三島地内十字路のカーブミラーの向きが悪い。時々点検をお願いしたい。	カーブミラーの角度調整については、現場パトロールや自治会等からの要望を受け、角度調整を実施しております。引き続き点検を行い適正な維持管理に努めます。	A

■教育部

1	四区町	地域学校協働本部推進事業	地域学校協働本部推進事業が始まり、四区町でも夏祭り、秋祭り等で子どもたちにも参加して欲しい旨呼びかけている。昨年の秋祭りには「らくりん座」の公演を四区町公民館で行ったが、小学3年生以上の子どもたちは部活動でほとんど参加できなかった。 部活動も大切だが、地域の行事に参加できるようにならないか。「田んぼの学校」も通年でやっている。	本市の部活動におきましては、これまでも毎月第3日曜日を家庭の日とし、原則、部活動を行わない休養日として設定していたところですが、平成31年1月に「那須塩原市立学校に係る部活動方針」を策定し、第3日曜日に加え第1日曜日についても休養日として設定するほか、長期休業中におきましても、児童生徒が部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設けることとしたところです。	E
---	-----	--------------	--	---	---

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
当日	四区町	地域学校協働本部推進事業	【追加要望】回答がいきなり部活動の説明になっており残念。小中一貫校教育の目標に地域学習というのがあって総合学習が何かで入っていると思う。学年ごとに目標が定められていると思う。そういうことから、回答としては、児童生徒保護者を通して地域の行事に参加するよう働きかけていきたいという回答をいただけたらたいへんありがたかった。	地域学校協働本部について、どうすれば地区の行事に参加できるかという観点で回答したところ。西那須野地区では三島中学校学区と西那須野中学校学区で全エリアで地域学校協働本部を展開しており、できるだけ子どもたちも地域の行事に参加して地域の中で育ていき、体験を積ませていきたいと考えています。極力地域の行事を優先できるように調整を図るよう校長を通して各学校に周知しており、例えば部活動についても少なくとも第1と第2は休むということになっております。地域の行事については年度当初に日程を調整できるような努力を今後もしていき、できるだけ子どもたちが地域の中で生活できる時間を増やしていきたいと考えています。 【市長】書きぶりなんです、紙にしても独り歩きしないように、ニュアンスや書きぶりもこういった場でご意見いただければと思います。どうしても無難なものになってしま、行政の特性上仕方ない部分もありますが、こういった場でどんどんご意見いただければと思います。	E
2	上井口	上井口公民館へのエアコン設置	上井口公民館は常時選挙投票所に指定されているが、現在エアコンがなく、夏・冬場の使用がとても苦難している。エアコンの設置を検討してほしい。	ご要望のエアコン設置は、自治公民館の施設整備（新築、増改築、修繕、バリアフリー化、屋外運動施設整備及び耐震診断・改修）に対する補助金の対象となります。なお、各自治公民館に対する次年度の補助金交付のための要望調査については、例年9～10月に実施しております。	F
3	槻沢	通学路への信号機やカーブミラー等の設置	通学路に信号機やカーブミラー、防犯カメラ、標識、横断歩道などを増やしてほしい。	通学路の交通安全に関する環境整備につきましては、通学路交通安全対策プログラムに基づき、道路管理者、警察等関係機関と連携し、取り組んでおりますので、具体的な要望がある場合には、関係機関に御連絡くださいますようお願いいたします。	E
当日	下永田	大人のモラル、マナー	【追加要望】大人がモラルを守ってほしい。テーブルの上に足を投げ出してスマホをいじっている大人を見かけた。注意をする勇気はなかった。通信でモラルを守ることを呼びかけたい。	【副市長】要望としてお聞きします。	—
当日	南郷屋	2学期制の成果	【追加質問】小中学校2学期制、成果はどうだったか、成果の検証はしているか。今後も継続するのか。	授業日数が増え、それを確保するために2学期制に移行しました。3学期制では休みの前に行事が集中しており、その時間を授業に充てられると考え那須地区で広域的に協議して決定しました。2学期制によって夏休み前の時間が有効に使えるようになりましたが、年数が経つに連れていろいろな行事が入り込んできた傾向はあります。2期制の意味がどれくらい図られているかということは絶えず見直しており、このまま2期制のままいくのか3期制に戻すのかというのは、一つの市で変えることはできないので那須地区で広域的に協議する必要があります。	F

No.	地区	項目	意見要望	当日の回答	分類
-----	----	----	------	-------	----

■産業観光部

当日	不明	ガストロノミーツーリズム	【追加要望】市長のマニフェストにある温泉ガストロノミーツーリズム。お客さんは地元の野菜は大変美味しいという。ただそれは新鮮だからというだけじゃないかと思う。自分が作っているのはもっと美味しい。ただ美味しいだけでは他の市町との差別化もできない。例えば無農薬無化学肥料、有機野菜を増やしてはどうか。元気な野菜は栄養価も高い。そういうものを食べると体の毒素などが体外に排出されるとも言われている。これを地産地消すれば健康にもなるし。結構(そういう取組を)やっている方がいる。私から見ると素人の方。移住してきたとか農業を始めたとか。だから、今やっている農家の人が取り組めばもっともとうまいくちと思っている。明日からそういう野菜を作れといっても難しい。だから、市でリードしてもらえればできる。無農薬無化学肥料でやっている人は、後ろめたい気持ちでやっている。「変な人」と(言われがち)本当に美味しい	【市長】提案有難うございます。私は那須の高原野菜を十二分に美味しいとは思っていますが、付加価値を付けるため、より健康的なものを使って差別化を図るというのは一つの方法だと思っています。栃木県全般に言えるのはモノを安く売り過ぎているのではないかということ。お米の価格、一升60キロ当たり栃木県産コシヒカリ1万4千円前後、新潟産のコシヒカリは1万7千円を超える。山形のツヤ姫1万7千円、魚沼産コシヒカリ2万円にもなります。1.5倍違う。では、1.5倍おいしいかと言うと決してそんなことはないと思っています。ブランド力の差です。まずはいかにしてブランド力を付けていくか。そして最初にブランド力を付けやすいものは何かというと高原野菜ではないかと思えます。果物は競争が激しいが、だいこんの湯上り美人やとろかぶに付加価値を付けられるように、観光でブランドを高めていく、それに尽きと思っています。	E
----	----	--------------	--	---	---